

看護力再開発講習会の予定

開催日：令和3年2月2日（火）  
 場所：群馬大学医学部附属病院スキルラボセンター  
 時間：10：00～15：00（場合により時間短縮があり）  
 令和2年度最後の研修になります。  
 現在離職中の方、復職したいが技術に自信がない…等  
 悩んでる方、まずナースセンターへご連絡ください。

群馬県ナースセンター  
 027-269-5202



ナースセンターの紹介で  
 マッチング！

医療法人十薬会 上大類病院  
 看護部長  
 小島 千亜希 さん

以前の職場では、ワーク・ライフ・バランスの委員として、時間外短縮に向けての業務整理や、有給休暇・特別休暇制度の周知や取得など「働きやすい職場」を目指し取り組んできました。

しかし、途中退職の決断を迫られたのは、認知症の父親を介護していた母が、骨折を機に要介護となってしまったことです。それまでは父の事でさほど自分に課せられたことはありませんでした。全ての役割を担ってくれていた母が要介護になった途端、自分の状況が一変したと感じました。親のために自分が何とかしなければと考え退職をしました。

その母も快方に向かい方向性が何とか見出せそうなとき、群馬県ナースセンターから現在の職場である医療法人十薬会上大類病院を紹介して頂きました。コロナ禍で大変な時に医療者でありながら傍観者で居た自分に罪悪感を抱いていた矢先で、「復職してみるか」と考えていたタイミングでした。

医療法人十薬会上大類病院は25床の小規模病院ですが、同じ敷地内に老人保健施設若宮苑、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所在宅ケアセンター、地域包括センター高齢者あんしんセンターが備わっており、地域包括システムの構築に向けて重要な役割を担っています。「住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる」ことを目指し、全職員が協働で在宅につなげる支援を行っています。

看護部長の任に就き、看護管理、医療安全、感染対策、地域連携、患者相談等多岐にわたる役割の数々、また初めての介護分野を習得するため、職員や地域の医療介護の方々とは協力しながら地域医療に取り組んでいます。

潜在看護職員復職支援研修に参加して

ナースセンター相談員 福本 真理

今年度の潜在看護職員復職支援研修は、コロナの感染リスクのために角田病院、恵愛堂病院のみの開催となりました。このような状況下でも、研修生のために貴重な時間を割いて対応していただいた病院スタッフの皆様には、心より感謝しております。

未就業の看護師が、いざ復職を考える時にネックの一つになるのが看護技術の不安です。そのために採血や血管確保の体験は、手技や医療材料の扱い方を確認し、かつての記憶を呼び起こすための重要な要素であり、研修生も真剣に取り組んでいました。

その他、輸液ポンプの使用法、体位変換、嚥下練習、褥瘡回診の見学など様々な内容を盛り込んでいただきました。

その中で、現場の看護師との対話や、患者と共にクリスマスツリーの手作り体験などは、研修生にとって、離れていた臨床現場に一步近づき、復職への意欲に繋がる良い機会だったと思われま



ナースセンター委員の職場紹介

南牧村保健福祉課 村田 利行  
 「市町村で働く保健師の仕事について」

市町村で働く保健師は、役所の庁舎や保健センター、保健所等に所属し、子どもから高齢者まで全ての年代の方の健康相談、健康教室、各種健診などに携わっています。市町村の保健師は全ての住民の方に関われる機会があるので、とてもやりがいのある仕事です。

私は現在地域包括支援センターに所属し、介護予防教室や高齢者の家庭訪問などを行っています。高齢者の笑顔に支えられながら楽しく働いています。



関越中央病院 吉野 康  
 「ナースセンター委員としての関わりを通して」

元号が令和に代わり2年任期で病院より指令が下りました。

正直、何をしたいのか不明瞭のまま会議に参加し、ナースセンター委員は復職支援事業の発信を担うことが分かりました。

復職支援研修参加者の声を身近で聞く機会を通して復職に対する不安や悩みが多いことから、支援を通して再就職の後押しができればいいな、という思いを胸に研修事業に参加して、演習の補助や自分の職場の中途採用者の情報提供等を行い、微力ながら参加者の不安軽減に努めています。

コロナ禍で新しい生活様式やリモートワークが流行りの社会ですが、私たち看護職は人と人が関わる仕事です。

「いま私にできること」は潜在している「看護の力」がより多く復職に繋がるきっかけになることを信じて今後も委員活動に取り組んでいきます。



ナースセンター委員会のみなさん